



2022年5月12日

各 位

会 社 名 天馬株式会社  
代表者名 代表取締役社長 廣野 裕彦  
(コード：7958、東証プライム)  
問合せ先 取締役 総務・財務経理担当  
兼 総務部長 則武 勝  
(TEL. 03-3598-5515)

### 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日開催の取締役会において、下記の通り、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議し、2022年6月23日開催予定の第74回定時株主総会に付議することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月13日)	前期実績 (2021年3月期)
基 準 日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	42円00銭	40円00銭	40円00銭
配 当 金 総 額	1,848百万円	—	1,873百万円
効 力 発 生 日	2022年6月24日	—	2021年6月30日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当社は、株主の皆様への利益還元の充実を図ることが経営上の重要課題の一つと位置づけております。配当につきましては、連結純資産配当率（DOE）2.5%以上を目標として、安定した配当を継続することを基本とし、更なる利益還元の向上を目指すとともに、業績の向上及び経営目標の達成状況により、増配を検討することを基本方針としております。

株主還元策として、当連結会計年度では自己株式消却前の発行済株式総数に占める割合3.47%に相当する929千株（取得価額2,395百万円）の自己株式を取得し、資本効率改善にも取り組んだこと、及び為替相場変動に起因する為替換算調整勘定の変動もあり、一株当たり純資産は増加しました。

上記配当方針に基づき、当連結会計年度の年間配当金を連結純資産配当率（DOE）2.5%以上となる1株につき82円とするため、期末の配当金につきましては1株当たり42円とし、当初予想から2円増額させていただく予定であります。

これにより、すでに実施いたしました中間配当金40円とあわせて年間配当金は1株当たり82円となります。

次期連結会計年度につきましては、為替相場の変動等が不透明なこともあり、中間配当金、期末配当金をそれぞれ1株当たり40円とし、年間配当金はあわせて80円とする予定であります。

当金につきましては、配当方針に基づき、外部環境等も慎重に見極めたうえで、弾力的に検討してまいります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績 (2022年3月期)	40円00銭	42円00銭	82円00銭
前期実績 (2021年3月期)	40円00銭	40円00銭	80円00銭

以上